

商品名 アトロピン硫酸塩注0.5mg「タナベ」 医薬品基本情報

薬効	1242 アトロピン系製剤	一般名	アトロピン硫酸塩注射液
英名	Atropine sulfate	剤型	注射液
薬価	100.00	規格	0.05% 1mL 1管
メーカー	ニプロE S ファーマ	毒劇区分	(劇)

アトロピン硫酸塩注0.5mg「タナベ」の効能・効果

(胃潰瘍、十二指腸潰瘍)の(運動亢進、分泌亢進)、痙攣性便秘、胃腸痙攣性疼痛、胆管痙攣、尿管痙攣、副交感神経興奮剤中毒、迷走神経性徐脈、迷走神経性房室伝導障害、有機燐系殺虫剤中毒、麻酔前投薬、徐脈、房室伝導障害、ECTの前投与

アトロピン硫酸塩注0.5mg「タナベ」の使用制限等

1. 閉塞隅角緑内障、前立腺肥大による排尿障害、麻痺性イレウス、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 前立腺肥大<排尿障害を除く>、うっ血性心不全、重篤な心疾患、心筋梗塞に併発する徐脈、心筋梗塞に併発する房室伝導障害、潰瘍性大腸炎、甲状腺機能亢進症、開放隅角緑内障	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

アトロピン硫酸塩注0.5mg「タナベ」の副作用等

1. ショック、アナフィラキシー、頻脈、全身潮紅、発汗、顔面浮腫	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 散瞳、視調節障害、緑内障、口渇、悪心、嘔吐、嚥下障害、便秘、排尿障害、頭痛、頭重感、記銘障害、心悸亢進、呼吸障害、過敏症、発疹、顔面潮紅	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 心室頻脈、心室細動、中毒性巨大結腸、頻脈、体温上昇、交感神経興奮様症状増強、体温調節が困難、乳汁分泌抑制、緑内障、記銘障害、口渇、排尿困難、便秘、心悸亢進、散瞳、近接視困難、嚥下困難、頭痛、熱感、排尿障害、腸蠕動減弱、不安、興奮、せん妄、重度抗コリン症状、皮膚壊死、筋肉壊死、筋肉障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

アトロピン硫酸塩注0.5mg「タナベ」の相互作用

- 薬剤名等：抗コリン作用を有する薬剤

発現事象	抗コリン作用＜口渇・便秘・麻痺性イレウス・尿閉等＞が増強	投与条件	-
理由・原因	相加的に作用（抗コリン作用）を増強	指示	注意

2. 薬剤名等：MAO阻害剤

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	MAO阻害剤は抗コリン作用を増強	指示	注意

3. 薬剤名等：ジギタリス製剤

発現事象	中毒＜嘔気・嘔吐・めまい・徐脈・不整脈等＞	投与条件	-
理由・原因	ジギタリス製剤の血中濃度を上昇	指示	注意

4. 薬剤名等：プラリドキシムヨウ化メチル

発現事象	本剤の薬効発現が遅延	投与条件	混注
理由・原因	プラリドキシムヨウ化メチルの局所血管収縮作用が本剤の組織移行を遅らせる	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』